

令和5年度第2回岩村地域自治区運営協議会  
役員会議事録

日時：令和5年5月18日（木）19時30分  
場所：岩村コミュニティセンター2階大会議室  
出席：地域自治区役員  
オブザーバー：服部市議  
事務局：2名

---

1. はじめに
2. 会長あいさつ
3. 恵那市議会議員あいさつ
4. 岩村地域自治区運営協議会役員会 議題
  - 1) NEXT GIFU HERITAGE ～岐阜未来遺産～ について（観光交流課説明）
  - 2) 市長と語る～まちづくり懇談会～開催について 議題 1
  - 3) 重点課題取組みと部会の設置について 議題 2
5. 岩村地区WRC実行委員会 議題
  - 1) 昨年度の振り返り 議題 3
  - 2) エリアイベント検討
6. 報告事項等
  - 恵那市の人口と出生数 資料 1
  - 2023 ENAみのじのみ祭り 資料 2
  - 健幸フェスタ IN えな 資料 3
7. その他

事務局

定刻となりましたので会議を開催します。

会長

本日は役員会が第2回、WRC実行委員会が第1回となる。

今年度は検討する議題が膨大にありまして少し時間がかかるかと思われる。スピード感を持ってやっていかないといけない案件も多い。活発な意見を宜しくお願ひしたい。

市議

議会会派の行政視察で岡山、島根と中国地方へ2泊3日に出向いた。

人口減少とかSDGsそれから獣害対策、それから観光のデジタルトランスフォーメーション、そういった先進的な市町村を視察してきた。

まもなく6月議会が始まるが、先進的な視察結果を恵那市行政に反映させていきたいと思う。そういった思いで議会に臨んでいきたい。

## ○岩村地域自治区運営協議会議題

### 1) NEXT GIFU HERITAGE について

小栗

それでは早速議題に入らせていただきます。

NEXT GIFU FERITAGE について担当課より説明をお願いします。

観光交流課 安藤

先月に引き続き、NEXT GIFU FERITAGE について説明します。

まずひとつ目に認定式について説明します。

資料 NO1 を確認いただきたい。

認定書を授与される方は地域自治区 原田会長にお願いしたい。

地域の取組発表は観光協会岩村支部副支部長の宮地さんにお願いしたい。

当日の参加者について、岩村町の関係者として原田会長、ホットいわむら佐々木会長、商工会の山浦委員長、観光協会の渡會支部長、あと服部市議と小栗所長。振興事務所の職員でお願いしたい。

まだ若干車に余裕があるので、希望者があれば参加いただきたい。ここまでご意見があれば挙手いただきたい。

〈意見なし〉

続いて事業計画案を大島より説明させていただく。

観光交流課 大島

計画案は決まりきったものではなく、方向性を示すものです。  
相談させていただくというスタンスで説明させていただきます。  
大きく3点に分けて説明します。

一つ目が「NEXT GIFU FERITAGE 概要」、二つ目が「今後の取り組み方針の案」、三つ目に「想定スケジュール概要」を説明します。

NEXT GIFU FERITAGE、簡単に申し上げると世界に誇れる持続可能な観光資源となるよう磨き上げるというもので、令和5年度から新設された岐阜県の認定プログラムです。

資料をご覧ください。従来、岐阜の宝物というプログラムがありました。国内に向けて力を入れて取り組んでいく資源ということでした。

今回 NEXT GIFU FERITAGE というものは、岐阜の宝物さらに上位あたるものです。

令和5年度、県下で二つ選定されそのうちの一つに、「恵那岩村町の山城・岩村城下町と農村景観」プログラムが認定されます。

岐阜の宝物と NEXT GIFU FERITAGE の違いは、岐阜の宝物は日本全国の皆さんに通用する資源に磨き上げる。対して NEXT GIFU FERITAGE は、世界から認められる資源を目指す。国内から世界へという事になります。

取り組み方針案について説明します。

基本方針は令和5年度に改定をされた岩村グランドデザインの基本方針を掲げさせていただきます。

具体的な施策は、岩村グランドデザインに掲げられている基本施策を参考にし、海外の観光客の受け入れを想定して、二つの事業の展開をしていきたいと考えています。

一つ目がハード事業として施設改修、二つ目にソフト事業としてガイド人材の育成などです。

海外からの観光客といっても世界いろいろありますが、特に欧米の方、そして日本ならではの歴史や文化という質の高い本物を求めるような意識の高い層に向けて取り組みを行っていききたいと思います。

次に実際の取り組みの案について説明します。

観光交流課 高木

事業の説明をします。

まず一点目はハード事業です。

①市所有の町屋または空き家の改修、②空き家の活用補助金、③既存宿泊施設の改修整備補助金、④受入環境整備（Wi-Fiの設置と看板設置・改修）城下町だけではなく城山、富田地区まで整備⑥レンタサイクルの強化事業

②の空き家改修は岩村城下町の空き家が対象になると思いますが、英語ネイティブの専門

家の協力を得て、滞在時間の延長と消費促進につながる検討を行いそれに合わせた改修を行います、市所有の町屋については改修後の運営についても皆様にご意見等をいただきながら公募による事業者を選定することも考えられます。

③既存宿泊施設の改修整備補助金は岩村や富田にある宿泊施設改修のための補助金です。特に外国人観光客の受け入れに必要となる改修が考えられます。

④まちなかに WI-FI が引かれています、不具合等があり接続状況もある意と聞いております。これを機に城下町だけではなく城山、富田地区にも整備が出来たらと考えます。整備された暁には QR コードによる説明も多言語化が出来たらと考えています。

⑤現在あるレンタサイクルの強化も考えています。

二点目はソフト事業です。

①専門家招聘 ②インバウンド向けガイド育成 ③コンテンツ創出・ブラッシュアップ補助金 ④受入環境整備（ガイドオーディオの導入） ⑤観光PR ⑥マーケティング強化

①外国人にもわかりやすいように看板の改修、ガイド育成など専門家に指導を受けたらどうかと考えています。

②岩村町には既に人本人向け観光案内ガイドはみえますが、インバウンド向けガイド育成が必要と考えます。受け入れの心構えなど学んでいただく必要があると考えます。

③ツアー等を実施する際にコンテンツが必要になってきます。岩村町では「いわむらごっこ」体験コンテンツはあります。それをインバウンド向けに展開出来るのものがあればそれに関する費用を補助するといったものになります。

④ガイドオーディオの導入ですが、多言語による音声ガイドが出来ればと考えます。例えば町屋の中でも音声ガイドを聴きながら回ってみることが出来ます。

⑤観光PRですが、インバウンド向けの動画、WEBサイトを整備する必要があります。今後岐阜県は岐阜未来遺産の認定を受けたプログラムを大々的にプロモーションしていくと言っていますので、県とも連携を取りながら進めていきたいと考えています。

⑥マーケティングの強化ですが、アンケートや調査により現状を把握する必要があります。数値的なものも求める必要があります。

観光交流課 大島

今後の進め方ですが、皆様からの意見をいただきながら岐阜県と調整を開始したいと考えております。今後、岐阜県との調整事項や進捗状況などは、必要に応じて皆様にご相談をさせていただきながら進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。観光交流課からは以上となります。

観光交流課 安藤

只今説明したものが、そのまま通るというわけではありません。これあくまで方向性とい

うところでご理解いただければと思います。今申しました通り、今後岐阜県の方と調整をさせていただいて、各事業が固まってきましたらその都度情報を入れさせていただいてご意見をいただきながら進めたいと考えております。

委員

Wi-Fi 以外で城山には何も手を付けないのか？

本通りのボコボコは直るのか？

観光交流課 安藤

城山は今のところ看板と Wi-Fi ですが、何かあったらご意見ください。

今ここで回答は出来ないので、本通りの舗装はご意見として記録しておきます。

委員

ハード事業の空き家改修はどれぐらいの補助額になるのか。又何年掛けて実施するのか

観光交流課 安藤

単年度事業であり、3年ぐらいは補助対象になりそうです。

空き家改修等については、本事業とは別に補助制度もあるので、本事業が終了してもそちらで対応することになります。

委員

岐阜県の想定している予算規模は？

観光交流課 安藤

全体で1億円 岩村と小坂は10/10 未来遺産を目指す地位は2/3 となります。

1億円は今年度の予算となります。

来年度の額は未定です。

委員

今年度は初年度なので計画が中心となる。そんなに大きな金額は必要ないかもしれないが、2年3年目が今年度と同額では大したことは出来ない。

西尾

市所有の町屋については現在観光協会が指定管理を受けているので、運営の指定管理については配慮が必要である。

市議

個別の事業を説明いただいたが、全体がぼやけてしまっている。グランドデザインにはフィールドミュージアムという考えがあるので、ここで一度手掛け、町全体をどうしていくかを整理しないと個別に突いても、それが全体的にどういう形でプロモーションしていくかというところに繋がっていかないとされる。是非フィールドミュージアムを手掛け

城址 城下町 農村風景日本一を一体的にどういう区分でどういう形で観光に繋げていくかが重要だと思う。

観光交流課 安藤

今後取り組みながら考えていきたい。

市議

それでいいので、全体を意識しながら進めないと個別のものが無駄になると思われる。

## 2) 市長と語る～まちづくり懇談会～開催について

事務局

続きまして市長と語るまちづくり懇談会の開催について、案を説明させていただきます。

開催日時は岐阜未来遺産認定式により7月3日に延期となりました。

これより現地視察、懇談会のテーマを説明いたします。

**現地視察①**として本通りのカラー舗装の老朽化です。

本通の舗装が老朽化している。補修は常温合材で穴埋めをしておりますが、茶舗装い黒い合材で補修をしているので伝建地区の景観としてあまり良い状態ではないのではないかと  
いう意見です。

もう一点、数年前よりカラー舗装の骨材がはがれ始めています。この骨材は親指の爪程の物もあります。車にはね上げられ家屋に損傷を与えるという話も聞いております。一度、現地を市役所に見ていただきたいと思えます。

**現地視察②**としまして、安田倉庫の老朽化です。

安田の倉庫がずいぶん老朽化しておりまして、解体をした後、跡地を駐車場として整備出来ないかと提案したいと思えます。

安田倉庫には、合併前からの地域イベント等の資材が保管してありますが、施錠も出来ず、保安上も大変危険と考えます。

また倉庫がある合原駐車場は観光客の主な駐車場にもなっており、観光資源を活用し、まちづくりを進める岩村町にとって、早急に解決しなければならない課題であるというようなことも言えると思えます。

**現地視察③**としまして、旧岩村給食センターを安田倉庫の代わりに使用したいと考えます。先程の安田倉庫を壊しても中にある資材を保管する場所がありません。是非旧岩村給食センターを保管場所として無料で貸付いただきたいと訴えたいと思えます。

続きまして懇談会のテーマです。

**テーマ1 いわむらランドデザイン**

いわむらランドデザインは昨年見直しました。

ただ改訂版は行政にお願いしなければならないところもありますので、今回の懇談で報告をしたいと思えますし、せつかく作った計画ですので、今後ますます推進していく必要が

あると思います。

懇談会では見直しを行った旨の説明と、リニア中央新幹線開業に向けた観光戦略や、さらには観光交流人口 100 万人を目指すグランドデザインにありますので、今年度から推進部会を作って、これを協議していくことを説明いただければと思います。

#### テーマ 2 先人顕彰記念館

先人顕彰記念館は、今のところ正式に決まってはおりませんが、概ね形が見えてきたので地域がこれから取り組むことを説明いただきたいと思います。ふるさと納税、記念館を守る会設立、講話メニューの検討があげられます。

#### テーマ 3 旧大将陣住宅利活用

今回、観光協会の方で、大将陣住宅を活用して移住定住、それから岩村町の情報発信という内容で活用するので具体的にこの機会に説明したいと思います。

#### テーマ 4 岩村福祉センター

昨年の地域懇談会で岩村振興事務所の窓口スペースが狭いので検討いただきたいと思います。旧振興事務所の検討が済んでからという回答でありましたが、旧振興事務所の活用も見えてきたので、現在の市の考えを確認したいと思います。

以上が現場視察とそれから懇談会のテーマとしました。とりあえずこれあくまでも案でございますので、ご意見等いただけたらと思います。

<意見特になし>

続きまして、現地視察及び懇談テーマの説明者をお願いしたいと思います。

現地視察について、①本町通りの舗装については、山村副会長、②安田の倉庫については、佐々木副会長、安田倉庫解体後の駐車場整備は渡會委員 ③旧給食センター活用については、佐々木副会長をお願いしたいと思います。

懇談テーマの①グランドデザインについては佐々木副会長、②先人顕彰記念館については西尾委員、旧大将陣住宅利活用については渡會委員、窓口改善は原田会長をお願いしたいと思います。

<異議なし>

### 3) 重点課題取組みと部会の設置について

事務局

前回の会議で今年度の重点課題はグランドデザインの具体的な推進と空き家情報提供事業と承認いただいた。

部会のメンバーは事務局案を示すことと言われましたので別紙のとおりとしました。

ご意見があればお願いしたいと思います。

〈意見なし〉

ランドデザイン部会の今後のスケジュールですが、7月に第1回目を開催したい。今年度は重点プロジェクトのうち特に必要な事業を推進し、合わせて岐阜未来遺産の事業検討を行う。

空き家情報提供事業部会の今後のスケジュールは、7月に開催される塩見直紀氏講演会参加、8月には名古屋大学高野先生による講演会と合わせ第1回の部会を開催したい。令和5年度には移住定住委員会設置を目標としたい。

委員

二つに部会を絞ったということで、各部会大人数になります。ただ機動力を発揮してやらないといけない事も多々あると思われるので、それぞれ部会で検討いただきたい。

委員

現在は、地域協議会委員の割り振りであったが、その他の方で適任者があれば入れても良いのではないかと？

事務局

特に移住定住部会については委員以外にも移住者の方とか関心のある方には入っていたらと思います。

数年後には役員が参加しなくても成立するような組織が望ましいと思っています。

委員

ランドデザインであれば観光協会の羽柴さんとか宮地さん、その他観光協会関係者、岩村町以外、三宅唯美さんにも入ってもらってもいいのではないかと？

委員

プロジェクトチームとして動ける体制作りが必要と思う。

事務局

各部会で話し合っ必要があればどんどん輪を広げていただければ良いと思います。

各部会の長を本日は決めていただきたい。

事務局案としてランドデザイン部会は佐々木繁生さん、移住定住部会は宮澤博光さんをお願いしたいと思います。

委員

部会には入るが長は止めてほしい。

会長をお願いするのがやりやすいのではないかと？

委員

どうせ部会には出席しなければならぬので承知した。

事務局

ランドデザインは佐々木さん、移住定住部会は原田会長をお願いします。



〈異議なし〉

移住定住の主担当は吉村になります。グランドデザインの主担当は山辺になりますので1年間よろしく願いいたします。

## ○岩村地区WR C実行委員会

### 1) 昨年度の振り返り

事務局

前回の反省を説明します。

①競技者の交通ルールが守られていなかった。②物販は売れなかった③おもてなしが足りなかった④歩車道境界テープを持つ人が少なかった。⑤ボランティアの拘束時間が長すぎた。⑥駐車場に人を配置しすぎた。

これに対して対応策と課題・提案です。

①交通ルールは主催者側に申し入れし、違反者への罰則を検討しているようです。

②物販は販売場所も含め今後検討してまいりたい。

③おもてなしは女太鼓やイワムーリャに出演を依頼し大会を盛り上げてもらいたい。

④⑤ボランティアの拘束時間が長い。楽しんでいただけるような対策も検討が必要。

⑥駐車場担当が多すぎた。いま一度検討する必要がある。

委員

昨年はボランティアスタッフのとの会議が実際にあり、何もわからないうちに開催となった。何もなくて完了したので良かったのが今年はまだもう少し早く開催してほしい。

それと当日、私は3丁目の信号にいたが、カメラマンとか外人の圧が強く、邪魔だどけ、消防団も退かせと言われた。別に無視したらいいのか？3丁目信号の上も通行止めにしたほうが良い。これらも検討事項になる。

事務局

今後の会議で調整していきます。

委員

町並みの使い方を検討したほうが良い。

走らない時や終わった後にイベントをするのか？

写真を撮りたい人は何を撮りたいのか？

そういった事を考えながらイベントを考える必要があると思う。

事務局

次回以降も引き続き検討願います。

報告事項

**恵那市の人口と出生数**ですが、岩村町は4月3人生まれております。

人口は5月1日現在で4,630人となっております。高齢化率は35.11%です。

本日の新聞には岩村町で出生記事が掲載されておりました。

**みのじのみり祭り**ですが、9月23日24日に開催されます。

実行委員会から出店の依頼が来ております。昨年はN-worksと茅の宿に出店いただいております。実行委員会から出店補助7万円があります。必要経費を差し引いて残を出店者にお渡ししております。

**健幸フェスタ in えな**ですが、6月4日に開催されます。

## 事務局

先程、本日中にNEXT GIFU HERITAGEにご参加いただける方を決めてほしいとの事でした。原田会長、山村副会長、佐々木副会長、原田市議はご参加いただけるとの事でしたが、他に参加いただける方がありましたらお願いします。

ご出席いただける方は明日の朝 8時30分までにご連絡ください。

## 委員

岩村町には安心カードがある。有事の際にこれを利用して救助が行える。自治会に加入していない人は無い。恵那市の加入率が低いと聞いているので、何かの時には話題にしてほしい。とにかく自治会の加入率を上げることが重要である。本日社協の会議でもお願いしてきたところである。

## 会長

今自治会の加入率の話が出たが、準自治会は加入率にカウントされるのか。

## 事務局

されません。準自治会は菅沼、五月丘まだ他にも沢山あります。

寄附金、会費もお願いしており、個人で払っていただいているもあります。

## 委員

ゴミステーションのための組織ということ。

## 委員

準自治会が自治会になれば相当加入率は上がるんだけど

## 事務局

役が回ってくるのが嫌だと言われる。

## 委員

自治連の役を少し考えないといけない。

役が来ること。お金がいること。日曜日がなくなること。

## 会長

昨年度 自治連の会議でふるさと納税を街路灯の費用に充てることが出来ないか？という意見があった。こうしたものも自治連に入っていないと活用できない。

今の話は懸案事項として地域自治区として念頭においていただきたい。

事務局

次回の会議の日程ですが、6月15日とさせていただきます。